

株式会社大阪防水建設社

当社は1933年（昭和8年）にセメント防水工事及び防水材料の製造販売を主体に大阪市を本拠地に創立され今年で創業76年になります。施工工事業種は防水工事・グラウト工事・地盤改良工事・土留基礎杭工事・斜面安定工事・推進工事・管更生工事と多岐にわたり「社会に役立つ会社」を目指し日々努力しております。

防水工事につきましては、主に土木構造物（地下鉄・高架・道路トンネル・上下水道処理施設等）に関わる、防水・防食・止水・改修・耐震補強工事他を手掛け現在に至っており上記各業種共々全国展開をしております。

大阪支店では将来、阪神高速大和川線の一部として供与される都市計画道路大和川線常磐東開削トンネル工事で、関西地区において初めてとなるニューマチックケーソン工法の防水仕様として採用されたCVスプレー工法を現在施工中です。ニューマチックケーソンのCVスプレーは当社において九州支店に続く2件目の施工事例であり、今後この経験と実績を生かしSQSシステム工法の拡大に努めて行きたいと考えております。

最後になりましたが、大阪支店をはじめ東京・名古屋・九州各支店の防水工事部門におきましてはレジテクト事業部・BN会員の皆様方には日頃より一方ならぬ御支援と御協力を賜り紙面をお借りしてお礼を申し上げます。有難う御座います。

今後もSQSシステム工法協会会員・レジテクトBN会員として、日々邁進していく所存で御座いますので御指導と御鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

大阪支店 防水工事部・基礎吹付工事部 部長 平野 和彦

～BN加盟企業紹介～



大阪防水建設社 本社

株式会社五十鈴長野



代表取締役社長
月岡 光

【技能士資格者数】	
一級ウレタン防水技能士	10名
一級塩ビ防水技能士	7名
一級シート防水技能士	6名
一級シーリング防水技能士	10名
一級アスファルト防水技能士	3名
防水管理専門技術者	5名
二級建築仕上管理士	4名

【建設業許可番号】	
長野県知事許可 (般-18) 第9759号	(防)(塗)(内)(左)

▼会社概要	
社 名	株式会社五十鈴長野
所在地	長野県長野市
資本金	1,000万円
創 立	昭和51年4月創立
年 商	4億8千万円(21年度)
決算期	3月末
正社員	8名(男性7名・女性1名)
業務内容	防水工事全般 防食工事 内装工事 塗装工事 左官工事

発行:レジテクトBN本部
小倉・廣瀬

〒163-0823
東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル23F
株式会社ダイフレックス
TEL:03-5381-0666 FAX:03-5381-0670
MAIL:resitect@dyflex.co.jp
URL:<http://www.resitect.net/index.html>



第21号掲載内容

- P-1 : SQSSA総会／BN事業責任者会議開催
P-2 : EE東北'09／SQSSA関東地域広報委員会開催
P-3 : SQSSA関西・四国・中国地区現場見学会開催／SQSSA福岡地区BT-JW試験施工
P-4 : ものづくりアワード'2009出展／下水道出展
P-5 : 国交省CVアワード工法紹介(東京都)／ケーブルアワード工法紹介(東京都)
P-6 : 橋脚BT-JW工法紹介(岐阜県)／桟橋BT-JW特工法紹介(神奈川県)
P-7 : 道路公社RT工法紹介(福島県)／NEXCO RT工法紹介(福島県)
P-8 : BN加盟企業紹介 (株式会社大阪防水建設社／株式会社五十鈴長野)



2009年
第21号

SQSシステム工法協会『平成21年度総会』を開催

SQSシステム工法協会は、6月5日新宿NSビルにおいて、総会を開催しました。全国各地から会員63社76名が出席し、総会・各部会事例発表・記念講演会などを熱心に聞き入りました。

総会は、議長に三浦慶政氏（株式会社ダイフレックス代表取締役会長兼社長）を選出し、五十嵐事務局長から平成20年度の事業・決算報告並びに監査報告の議案が提案され、拍手を持って満場一致で承認されました。引き続き平成21年度事業計画と予算案等の議案が提案・審議され、何れも満場一致で承認されました。

今年度の事業計画では地域広報委員会の活性化と、SQS工法の技術審査証明更新取得作業を重点目標とし、SQS工法の普及活動に一段と注力することに決定しました。

その後の事例発表会では、大成建設株式会社の廣瀬哲也氏から『東名阪自動車の地下防水工』という表題で、従来の防水工から設計変更してSQS工法（約70,800m²）を選定した経緯と採用後の施工状況について詳しい説明をして頂きました。発表は東名阪自動車道の概要図や施工現場風景、施工写真、防水工法の比較表など貴重な資料を提供され、施工管理の苦労話を交えながら、SQS工法が地下土木工事の防水工法として欠くことのできない工法であると、心強いお話を頂きました。

続いて、堀江広報委員長から『農業用水路の施工実績と今後の注意点』の発表がありました。SQS工法（CVスプレー）は農業用水路等コンクリート製開水路の表面保護工としても高い評価を受けています。特に滋賀県の農業水路で積極的に採用されこの分野へも大きく実績を伸ばしました。本改修工事ではコンクリート劣化の程度や、地下水の漏水など下地処理不具合による塗膜の剥れや、剥離の現象が一部で発生しました。今回、水利系部会と協力し原因分析を行い、この様な厳しい現場での下地処理の重要性などを説明し、施工ミスの防止を啓発しました。



(会長のご挨拶)

また、講演会では、中華人民共和国清華大学の安雪暉教授が『四川大地震の構造物被害考察』という表題で、震災発生後1年経過した現在の被災建造物の状況について多くのスライド写真を投影しながら講演して頂きました。講演会終了後、新宿ワシントンホテルで行われた懇談会では、来賓挨拶で鬼頭誠氏（緑と水の協会理事長）からは、JR時代にSQS工法を知り鉄道の剥落防止工法として大変有効な材料になるでしょうとのご挨拶があり、活発な交流が持たれました。

SQSシステム工法協会事務局 近藤 明義

平成21年度オーナー・事業責任者会議・個別研修会開催

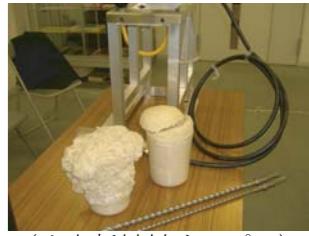
レジテクトBN本部は、6月6日（土）オーナー・事業責任者会議と個別研修会を開催しました。会議及び研修会は、本部発表、事例発表、個別研修会とスケジュールに沿って進みました。

本部発表では、BN本部活動成果としては、「新技術認定」「中性子ビーム研究」「下水道事業団共同研究」「止水新材料」等の説明、各地域SV活動成果、各工法SV活動成果を報告しました。

事例発表①「ストックマネジメント技術高度化事業岩手山麓地区開水路の試験施工」は、株式会社テラと株式会社東北リバイブがCVスプレー工法について発表しました。東北地区は積雪が多く、凍結融解が起きる厳しい環境で様々な対策が施されていました。下地処理工にて高圧洗浄（30MPa）では脆弱部が除去できず、超高压洗浄（100MPa）に切り替えるなど軸体状況により臨機応変な対応もなされていました。

事例発表②「砂町水再生センター沈澱池整備工事」（東京都下水）は、建装工業株式会社がBT-D工法について発表しました。工期短縮と防水性・追従性に優れた性能が採用された理由です。施工は株式会社ジック技建と組み、狭小閉塞空間での作業に難航しながらも、手戻り工事は僅少で短期間に施工が完了する成果の得られた工事体験談をお聞きすることができました。

個別研修会①「下水道コンクリート防食工事施工・品質管理の手引き（案）」。②「機械関連TECT新マニュアル」は、BN本部各担当が講師を務めました。



レジテクトBN本部 廣瀬 玲奈